

## 調達コスト削減サービス

— “財(=モノ)” と“サービス(=コト)” の調達コスト削減 —

産業の低成長時代となっている昨今、厳しい市場競争に対応するために最も重要な論点の一つとしてコスト削減が挙げられることは言うまでもありません。利益率を高めるために売上最大化・費用最小化の原則に則り、これまでも継続的に取り組まれてきたテーマではありますが、昨今のパンデミックや自然災害、突発的な金融危機等により経済環境が激変するタイミングでは、早急かつ大幅なコスト削減が求められます。

コスト削減の対象領域としては、製品やサービスに関わる直接コストに限らず、間接コストの削減も様々な企業で取り組み、集中購買によるボリュームディスカウントなどの施策が推進されてきました。ただし、企業内には確固たる方法論に基づいて取り組むことができておらず、対処療法的な取り組みに終始し、継続的な成果に繋がられていないケースも散見されます。

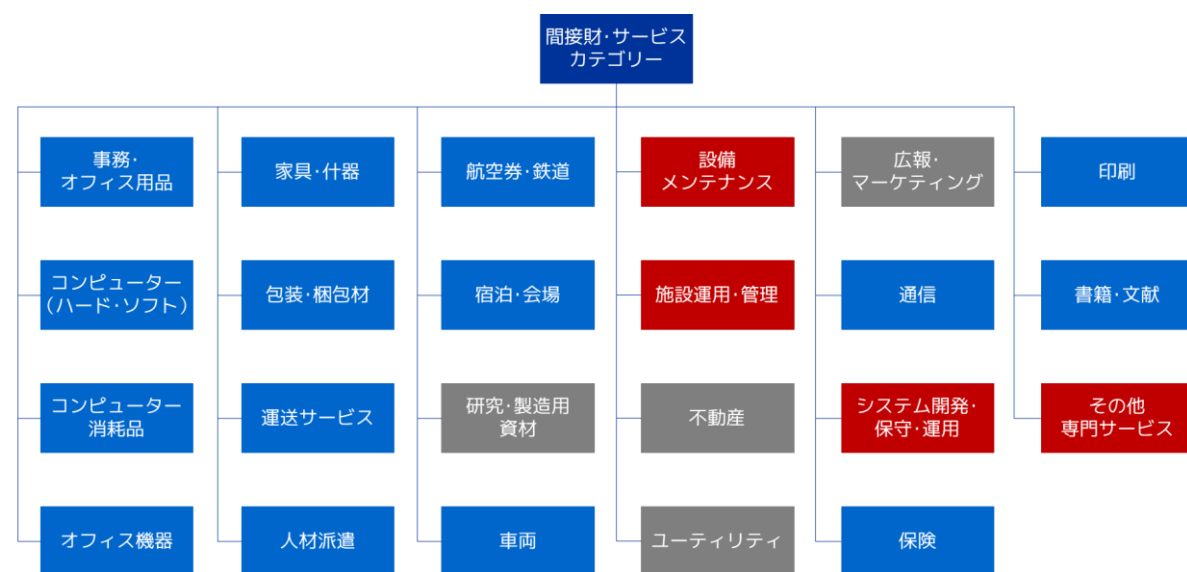
企業によっては部門横断で調達を推進する部門が存在しておらず、調達ノウハウが個別機能や部門に依存してしまっている状況は少なくありません。そのような状況の中、調達に関するコンプライアンス対応等も加味しながら、急速に変化する市場環境に対応する調達オペレーションの難易度は、益々高まっているのではないのでしょうか。

### 間接サービス調達コストが狙い目

調達コストの削減というテーマにおいて、皆さんの頭に直ぐに思い浮かぶのは“間接財(=モノ)”の調達コストの削減ではないのでしょうか。ただし、前項でも説明したとおり、この“財(=モノ)”の調達については、これまでも試行錯誤を繰り返し、継続的にコスト削減に取り組んできた領域であるため、新たな施策による大幅な改善効果を見込むことは難しくなっています。

そこで注目すべきは“間接サービス(=コト)”の領域です。

サービス(=コト)の領域は、サービス仕様やサービス単価、契約スキームの見直し等、財(=モノ)に比べて検討すべき項目が多く目つ複雑であるため、社内組織だけで検討を進めることが難しく、見送られていた領域となります。それ故、本来削減できるはずのコスト削減を実現できていないケースが多く存在し、大幅な改善効果を生む可能性を秘めています。



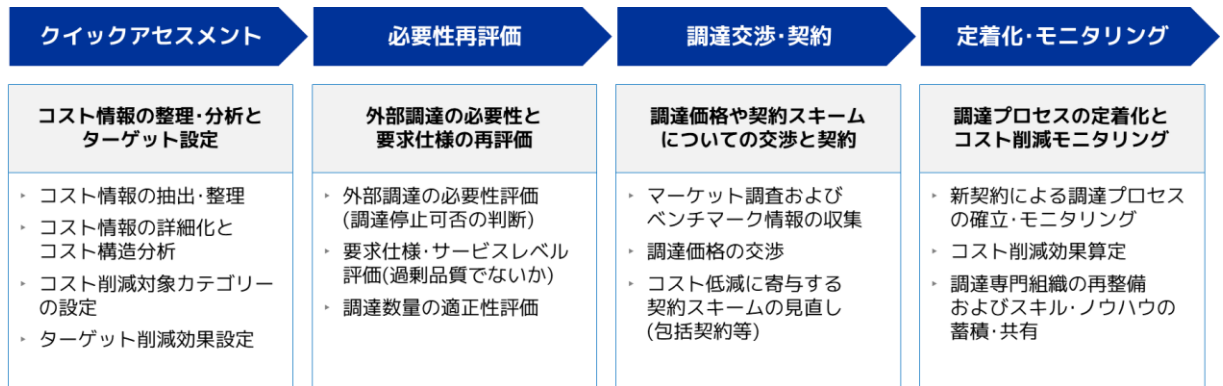
■ Regrit Partnersで支援できる調達コスト削減領域

■ Regrit Partnersで支援することで、特にコスト削減効果が見込まれる専門サービス領域  
(ファシリティマネジメント、各種IT・専門サービス)

## 調達コスト削減サービスアプローチ

リグリット・パートナーズでは、間接財（＝モノ）の調達コスト削減はもちろんのこと、ファシリティーマネジメント領域や各種IT・専門サービスといった間接サービス（＝コト）の調達コスト削減に関する豊富な経験を有するコンサルタントが多数在籍しています。

様々なクライアント企業に対するコスト削減プロジェクトに基づき、クライアント企業のおかれた状況・状態に応じた最適なアプローチでプロジェクトを強力に推進します。まずは、コスト削減効果がどの程度見込めるかを調査する“クイックアセスメント”からスタートすることをお勧めしています。



← 約1ヵ月 → ← ターゲット領域によって期間変動 →

また、必要性評価～調達交渉・契約Phaseにおいては、コスト削減に寄与する様々な交渉や契約スキームを実現するための外部専門パートナーとの強固なネットワークも保有しているため、実現性の高いコスト削減ソリューションを提供することが可能となっています。

## コスト削減に関するその他サービス

- 人的リソース再配置（BPO・RPA活用見直し等）による**オペレーションコスト削減支援**
- Integrated Facility Managementによる**ファシリティーマネジメント領域のコスト削減支援**
- IT資産（ソフト/ハード）調達からシステム開発・保守・運用まで**IT領域トータルコスト削減支援**



## サービスに関するお問い合わせ



株式会社リグリット・パートナーズ  
 〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目2-9 麹町PREX 9F  
 担当者：土田敬太  
 Mail：[keita.tsuchida@regrit-p.com](mailto:keita.tsuchida@regrit-p.com) TEL：09098374838